



決意を胸に 2学期のスタート!!(生徒代表②)

3年 山口 蒼生(生徒会代表)

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。明日からは、早速実力テストが実施されます。2学期には、合唱コンクールという大きな行事があり、その他にもそれぞれの学年での行事や学習活動が計画されています。1年生は、初めての合唱コンクールへ、2年生は、起業体験学習が「くしマルシェ」に向けてより佳境に、そして、3年生は受験に向けての準備に力を入れる2学期になります。その中で僕は、2学期からの生活や学習で頑張りたいことが3つあります。

1つ目は、家庭学習です。1学期の間、僕は何となく勉強に取り組んでいました。そのため苦手な教科の点数がなかなか上がらなかったことが課題でした。この反省を生かして、2学期は苦手な教科の勉強方法や勉強時間を工夫していきたいです。

2つ目は、合唱コンクールです。今年で最後の合唱コンクールになるので、何より楽しんで練習していきたいです。中でも大切にしたいことは、みんなでどれだけ協力して練習するかです。クラスの仲間や3年間の中でできた大切な友達との思い出を残すために、合唱コンクールはみんな協力し合いながら練習していきたいです。

3つ目は、生徒会活動です。残り少ない活動期間で来年に繋がるような活動や考えを出していき、悔いの残らないように最後まで手を抜かず真剣に活動していきたいです。

これら3つの目標を達成できるよう、2学期は何事にも全力で取り組み、最後までやり遂げたいと思います。そして、生徒会スローガンの「前進」にあるように、目標に向かって前に進んでいきたいと思っています。みなさんも、2学期のスタートに当たって一人一人目標をもち、自分だけの花を咲かせられるように努力していきましょう。そして、健康や感染症予防にも気をつけて、この2学期を乗り越えていきましょう。



玖島の誉れ

R6.8.27 表彰伝達分(敬称略)

第70回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会 男子共通1500m	第1位	江口優	令和6年度大村市中学生夏季選手権大会 ソフトテニス競技 女子Aクラス	第3位	福田百彩 沖瀬陽色
第70回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会 男子共通3000m	第7位	江口優	令和6年度大村市中学生夏季選手権大会 ソフトテニス競技 女子Bクラス	準優勝	大町歩音 浦山明梨
第70回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会 男子共通四種競技	第2位	前田 浩貴	令和6年度大村市中学生夏季選手権大会 ソフトテニス競技 女子Bクラス	第3位	森愛花 渡辺咲希
第70回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会 男子1年100m	第7位	吉本一貴	第74回「社会を明るくする運動」中学・高校生 大村・東彼地区弁論大会	最優秀賞	本田佳穂
第70回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会 女子共通800m	第7位	本田佳穂	第74回「社会を明るくする運動」長崎県弁論大会	優秀賞	本田佳穂
第70回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会 女子共通100mH	第6位	田島鈴菜	第69回長崎県吹奏楽コンクール県央地区大会	銀賞	吹奏楽部
第70回全日本中学校通信陸上競技大会長崎県大会 女子共通走幅跳	第6位	名取愛音	令和6年度大村市夏季バドミントン大会2部女子ダブルス	第3位	松添優菜
令和6年度長崎県中学校総合体育大会 陸上競技 女子共通走幅跳	第1位	名取愛音	第16回おおむらバドミントンオープン大会個人戦3部女子ダブルス	優勝	坂口乃唯 松添優菜
令和6年度長崎県中学校総合体育大会 陸上競技 男子3年1500m	第2位	江口優	第16回おおむらバドミントンオープン大会個人戦2部女子ダブルス	準優勝	馬場ゆきな 與崎由衣
令和6年度長崎県中学校総合体育大会 剣道競技 男子個人	第3位	岩坂俊太郎	第16回おおむらバドミントンオープン大会個人戦2部女子ダブルス	第3位	平野陽菜 瀧口和奏
令和6年度長崎県中学校総合体育大会 剣道競技 男子団体	第3位	剣道部男子	JOCジュニアオリンピックカップ、第43回全日本ジュニアバドミントン選手権大会長崎県予選会	準優勝	茂見伶歩
令和6年度大村市中学生夏季選手権大会 ソフトテニス競技 男子Aクラス	準優勝	中馬颯太 豊田大貴	令和6年度大村市夏季バドミントン大会1部男子シングルス	優勝	茂見伶歩
			令和6年度大村市夏季バドミントン大会1部男子シングルス	第3位	瀨村歩
			第33回KTN杯長崎県バドミントン総合選手権大会 中学生の部	準優勝	茂見伶歩

夏休み明けの実力テストに真剣に取り組む姿勢⇒廊下のカバンに!

台風10号の影響から2日間臨時休業になりましたが、ご自宅やご家族に影響等はなかったでしょうか?実力テストも週をまたいでの実施となりました。本校ではテスト時に廊下に学習用具を出すようにしています。高校入試を意識しての取組です。右は1年生廊下の写真です。文部科学省が求める3つの力のうちの1つ「学びに向かう力、人間性等」の大前提としての「真剣」という姿勢が、上級生に倣って育っています。



飛耳長目

物の長さを測れるのは、「物差し」という基準があるからです。物事の善悪を判断するにも基準となる物差しが必要です。幼い子供のうちは親や先生、学校の決まり等が物差しとなりますが、小学校の高学年や中学生になると与えられた物差しだけではなく、自分の物差しで判断したいと思うようになります。この考えはすぐ当然であり、確かな自分づくりをするために必要なことです。この「心の物差し」を万全にすることが、本当の勉強であるとも思います。では、「心の物差し」とはどうやって形づくられていくのでしょうか。例えば、大谷選手の野球の力はもちろん、人間性や考え方等から、人に夢や希望を与える人になりたいと考えたとします。大谷選手の本を読みその生き方を学んだり、インタビューに答える内容から何かを掴んだりする中で、自分の生活や考え方が知らぬ間に大谷選手に近づいてきます。実際に壁にぶつかった時、「大谷選手ならどうやって解決しようとするか?」とじっくり考えるうち、「心の物差し」が身に付き、確かな自分が形づくられていくのです。